

塩谷郡市医師会だより

Contents

- 1 塩谷郡市医師会第73回定時総会報告
- 2 令和2年度第2回役員会報告
- 3 学術講演会報告
- 4 会長挨拶

一般社団法人 塩谷郡市医師会
広報委員会

〒329-1312

さくら市桜野1319番地3

さくら市氏家保健センター内

TEL 028(682)3518

FAX 028(682)5760

塩谷郡市医師会第73回定時総会報告

令和2年4月18日(土)さくら市氏家保健センターで第73回定時総会が開催された。定時総会の前に栃木県医師連盟塩谷郡市支部の総会も開催され、令和元年決算、令和2年予算について決議された。

定時総会は定款により選出された大草議長により議事が進められた。医師会員数100名中出席24名、委任状出席44名、計68名の出席で定足数充足が確認されたことにより第73回定時総会の成立が告げられた。岡会長のあいさつの後、尾形副会長より役員会、総務会、委員会活動などの会務報告があり、その後、議事に入った。



- (1)第1号議案「令和元年度塩谷郡市医師会事業報告並びに収支決算の承認を求める件」
- (2)第2号議案「令和元年度塩谷郡市医師会貸借対照表及び損益計算書と各附属明細書の承認を求める件」
- (3)第3号報告事項「令和2年3月31日現在財産状況の報告について」
- (4)第4号報告事項「令和2年度塩谷郡市医師会事業計画並びに収支予算の報告について」
(1)～(4)について説明と報告があり、可決承認された。
- (5)「理事及び監事選挙」
議長より4月10日までの立候補届出者は、理事定数12名のところ12名、監事定数2名のところ2名

の立候補であり無投票当選とする旨、報告があった。

- (6)第5号議案「令和2年度、令和3年度理事及び監事の承認を求める件」
新理事12名と監事2名について個々に裁決を諮り賛成多数で承認された。
- (7)第6号議案「令和2年度、令和3年度理事長(会長)及び副理事長(副会長)の承認を求める件」
選任された理事及び監事による役員会の結果、代表理事(会長)尾形新一郎、副代表理事(副会長)阿久津博美、副代表理事(副会長)佐藤泉を互選した。その後総会にて上記全員異議無く、可決承認された。
- (8)第7号議案 栃木県医師会代議員・予備代議員の承認を求める件
選任された新理事及び新監事による役員会において、栃木県医師会代議員及び予備代議員が互選され、総会で全員異議無く可決承認された。
- (9)第8号議案
(1)「本会に顧問を置くことについて」
新型コロナウイルス感染症への対応において陣頭指揮を執ってこられた岡先生に顧問を委嘱したい旨の提案があり、可決承認となった。
(2)「『HPVワクチン情報提供』のプロジェクトを立ちあげるについて」
さくら産院の泉院長より説明があり、可決承認となった。

令和2年度第2回役員会報告

出席者：尾形会長、佐藤副会長、村井成之会計担当理事、佐藤(勇)・村井(信)・半田・仲嶋・植木・高橋・手塚・須田理事、中嶋・花塚監事、岡顧問

- (1)冒頭に会長方針として、新型コロナウイルス感染症対策は直近の課題として全力で取り組む。地域

塩谷郡市医師会ホームページ/メール	広報委員会編集部	医師会事務局
URL http://www.tochigi-med.or.jp/shioya/ メール shioya@tochigi-med.or.jp	高橋雄二 uppaship@fa2.so-net.ne.jp	齋藤 saitou.shioya@gmail.com 高橋 takahashi@e-shioya.jp

医療を支えているのは我々開業医や基幹病院であることを肝に銘じ、会員がこれまで以上に地域医療に邁進できるよう基盤整備に努めていくとの挨拶があった。

- (2) 令和2年度の年間計画については下記のとおり決定した。
- (3) 令和2・3年度の塩谷郡市医師会の各種委員委員長が選任された。
- (4) 栃木県医師連盟塩谷郡市支部の役員が選任された。
- (5) その他

第16回市民公開講座（塩谷町）は新型コロナウイルス感染症の影響により順延とした。



塩谷郡市医師会行事予定

令和2年

- 4月18日（土）第73回定時総会、第1回役員会
医師連盟第19回通常総会
- 4月28日（火）第1回総務会
- 5月9日（土）郡市・大学医師会正副会長懇談会 **中止**
- 5月19日（火）第2回役員会
- 5月20日（水）地域外来検診センター整備運営会議
- 7月17日（金）納涼会 **中止**
- 8月25日（火）第2回総務会
- 9月8日（火）社会活動委員会 **中止**
- 9月24日（木）第3回役員会
- 10月18日（日）第16回市民公開講座 **中止**
- 10月24日（土）郡市・大学医師会正副会長懇談会 **中止**
- 11月10日（火）第1回災害医療対策会議
- 11月24日（火）在宅医療連携行政担当者会議
- 12月6日（日）第3回塩谷郡市医師会ゴルフコンペ

令和3年

- 2月2日（火）第2回災害医療対策会議
- 2月16日（火）第3回総務会
- 3月9日（火）第4回役員会
- 4月17日（土）第5回役員会
第74回定時総会
医師連盟第20回通常総会

※新型コロナに関するアンケート結果

（回答：51医療機関）

- 質問1 困っていることや不足している医療材料は？**
どの医療機関も、マスク、消毒用アルコール、フェースガードなどの感染予防の物品不足を挙げた。
- 質問2 感染予防対策は？**
入り口での掲示、車中での待機、頻回な消毒・感染予防対策、3密を避ける工夫がなされていた。
- 質問3 行政・医師会への要望**
医療材料の確保、PCR検査の充実、県内感染者のリアルタイムな情報の提供等の意見が多かった。
- 質問4 外来での発熱者の扱いは？**
入り口でのトリアージ、車内待機で対応し、マスクの他に手袋・ガウン・フェースガードを使用して診療している医療機関や、科によっては発熱者の診察を断っている場合もあった。
- 質問5 発熱者外来への協力は可能か？**
可能（条件付きも含めて）との回答は18、検討2であった。
- 質問6 感染蔓延下での休日当番は？**
困難や中止もやむなしという意見と続けるべきという意見で分かれた。発熱外来を設置し休日当番は発熱者（コロナ疑い）以外を診察するという形がいいのではという意見も多かった。オンライン診療や電話相談に限るべきという意見もあった。アンケートの答えでは自分自身やスタッフが罹患する事への不安を訴える回答も多かった。

学術講演会等予定

令和2年

- 5月12日（火）心不全 **中止**
- 6月16日（火）整形外科 **中止**
- 6月25日（木）認定産業医研修会
- 7月7日（火）関節リウマチ **中止**
- 9月15日（火）県立がんセンター **中止**
- 10月22日（木）認定産業医研修会（ケースカンファレンス）
- 10月27日（火）高血圧症
- 11月17日（火）アレルギー、エピペン
- 12月15日（火）高脂血症

令和3年

- 1月15日（金）主治医研修会（認知症）
- 2月9日（火）糖尿病

注：5月末日時点での予定のため、日程やテーマなどを変更する場合があります。

学術講演会 I

「ようこそ災害医療の世界へ-災害医療の基本と現状-」

日時：令和元年 11 月 12 日（火）

講師：国際医療福祉大学塩谷病院

副院長 一瀬 雅典 先生

阪神淡路大震災が災害医療のきっかけになり、DMAT(災害派遣医療チーム)が発足した事。5 名以上の被災者で災害医療発動。重要な事は CSCA。C；指揮、統制、S；安全、C；情報伝達、A；評価である。災害時は、情報が入り次第スイッチを入れる。オー



バーアクションでも良い。速やかに対応開始している。

塩谷病院で対応してきた災害医療対策の複数の事例の報告と、台風 15 号被災地への出動の様子、また発災時を想定した院内多種職種が参加してのシュミレーションの様も動画での解説があった。

災害医療には急性期後の亜急性期があり、今後開業医の立場の塩谷郡市医師会との連携の構想も検討中であるとの話があった。(花塚和伸)

「潰瘍性大腸炎の最新治療～基本治療から生物学的製剤まで～」

講師：獨協医科大学 内科学講座

講師 富永 圭一 先生

潰瘍性大腸炎は近年急増しており、いまや common disease ともいえる。中等症や重症の症例には従来基本的治療とされた 5-ASA やステロイドに加え、血球成分除去療法や免疫抑制剤、生物学的製剤など治療の選択肢が広がってきた。治療アルゴリズムを示しつつ、それぞれの薬剤の特徴や注意点を把握し、個々の症例により適した薬剤の選択をすることの重要性を説明された。(橋本 敬)



学術講演会 II

「糖尿病合併症の管理のツボ」

日時：令和元年 12 月 10 日（火）

講師：獨協医科大学 内分泌代謝内科

糖尿病センター センター長 教授 薄井 勲 先生

糖尿病合併症の中でも特に糖尿病性腎症について栃木県の現状と合併症管理の大切さや管理のコツ、さらに獨協医科大学糖尿病合併外来の取り組みについて講演していた



いただきました。最後に 2019ADA/EASD ガイドラインを通して合併症予防に有用な薬物治療として、SGLT2 阻害薬の積極的な処方が重要なことを説明していただきました。(佐藤 泉)

主治医研修会

「認知症」と「てんかん」

日時：令和 2 年 1 月 17 日（金）

講師：国際医療福祉大学塩谷病院

副院長 小黒 恵司 先生

脳には左脳と右脳があるが、それぞれ理性と感性の中枢であり、前頭葉がそれらを統合して人間性を形成する。認知症と高次脳機能障害とは全く別の疾患であるが、記憶、注意、遂行機能、社会的行動などの障害が共通していて、同様の症状を示すことが知られている。てんかんの有病率は 0.5～1%であるが、アルツハイマー型認知症のてんかん発症率は 3.5～4.7%と高率である。

また、介護保険制度の認定の仕組みについて、一次判定は介護に要する時間としてコンピューターで算出したもの、二次判定は調査票と主治医意見書の記載事項をもとに介護度を決定するもので、特記事項の記載が重要となり、脳外科医の立場から解説を加えた。(阿久津博美)

学術講演会 III

「腎生理学・病理学からみた高血圧・糖尿病治療の最前線」

日時：令和 2 年 2 月 25 日（火）

講師：獨協医科大学 腎臓・高血圧内科

教授 藤乘 嗣泰 先生

高齢化社会の進展で腎機能の低下を認める方が増加しており、実地医家にとっては投薬に注意する必要性が高まっている。近年糖尿病治療薬として注目されている SGLT2 阻害薬は従来の薬とは全く異なり、腎尿



細管での糖の再吸収を阻害する薬である。今回の藤乗先生の講演は腎臓の生理・病理の最近の知見も踏まえ、わかりやすい内容であった。(岡 一雄)

第2回塩谷郡市医師会親睦ゴルフ大会開催

令和元年12月1日(日) さくら市のセブンハンドレットで、第2回塩谷郡市医師会親睦ゴルフ大会が開催され、14名が参加しました。

優勝 松村 茂先生 準優勝 北條 行弘先生
3位 加藤 健先生



※新入会員紹介

よろしく
お願いします。

令和元年11月1日入会
黒須病院
奥畑 荘司 先生

令和元年11月8日入会
深澤クリニック
深澤 恵理子 先生



令和2年4月1日入会
菅又病院 院長
布施 大輔 先生



令和2年6月1日入会
黒須病院
田中 浩一 先生

塩谷郡市医師会 会長として

塩谷郡市医師会 会長 尾形 新一郎



新緑の風が肌に心地よく感じられる頃となりました。会員各位の皆様におかれましては、健やかに過ごしのこととご挨拶申し上げたいと

ころではありますが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が継続するなか、日々の診療におけるご苦労の程、いかばかりかとお推察申し上げます。

去る4月の総会におきまして、岡一雄先生の後任を仰せつかりました私、尾形でございます。昭和63年に地元塩谷町で尾形医院を継承し30数年になりますが、郡市医師会では平成10年より理事、平成22年より副会長を務めて参りました。この間、様々なことに役員として関わらせていただきましたが、特に記憶に残るのは平成23年3月に発生した東日本大震災の際の対応です。当時の会長であった山田 聡先生の号令一下、会員並びに卸問屋から医薬品の提供を募り、当院の看護師と共に宮城県石巻赤十字病院に大量の医療物資を届け、ライフラインが途絶える中での大規模災害時の最前線の壮絶さを体験できたことは大きな糧となっております。当医師会が当番を務めた平成26年11月の栃木県郡市・大学医師会正副会長懇談会での「美しい自然と清らかな水を守るしおや宣言」も記憶に新しい出来事です。会場となった塩谷町はこの年の7月、福島第一原発事故により飛散した放射性指定廃棄物の最終処分場建設候補地として選定され、町をあげての反対運動の真っ只中でした。国の進める施策に対し、県内全部の郡市・大学医師会ばかりか県医師会までもが、このしおや宣言を採択して下さったインパクトは大きく、今も続く反対活動の源となっております。

新型コロナウイルス感染症対策は直近の課題として全力で臨む覚悟しておりますが、医療介護連携を含んだ地域包括支援システムの推進、さらには開業規制などを盛り込んだ地域医療構想調整会議での医師会の主導的立場の維持などにも精一杯取り組む所存です。

いずれにしましても地域医療を支えているのは我々開業医や基幹病院であることを肝に銘じ、会員各位の皆様がこれまで以上に地域医療に邁進できますよう基盤整備に努めて参りたいと思います。今後ともどうかご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。